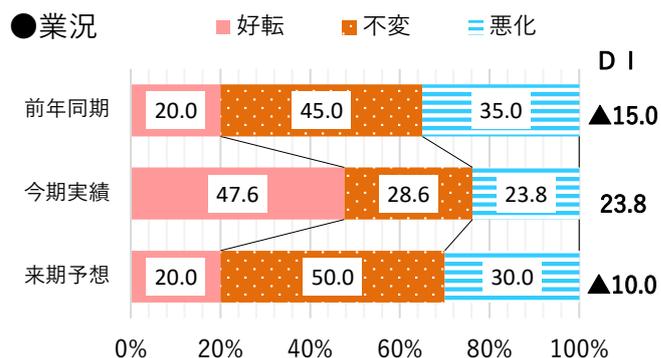


卸 売 業

業況、売上、採算

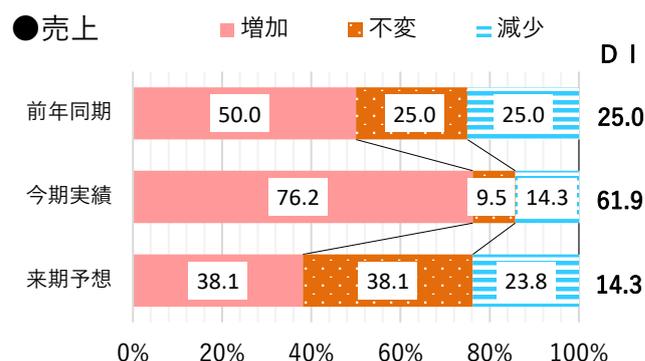
今期(2023.7~9)の業況判断DIは23.8で、前年同期(2022.7~9)と比べ38.8ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期(2023.10~12)は、業況が大幅に悪化し、マイナスに転じると予想しています。



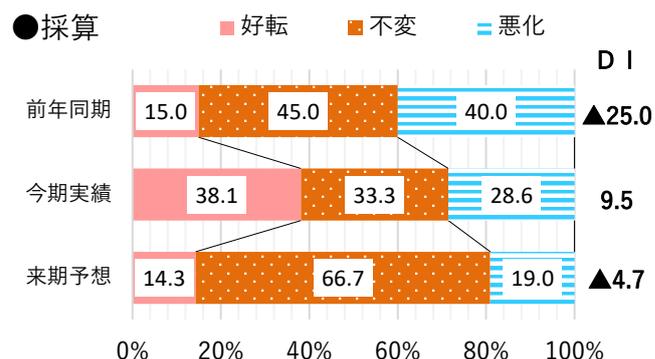
今期の売上DIは61.9で、前年同期と比べ36.9ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、売上の増加傾向が大幅に弱まると予想しています。

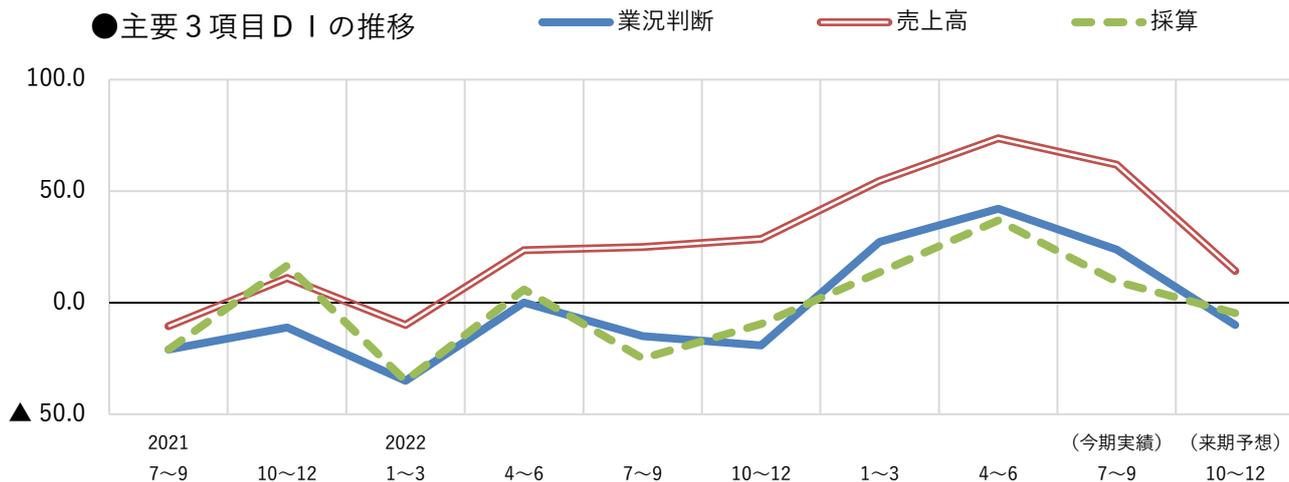


今期の採算DIは9.5で、前年同期と比べ34.5ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、採算がマイナスに転じると予想しています。



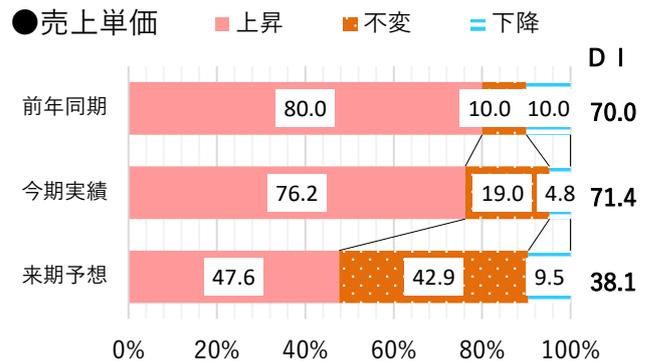
●主要3項目DIの推移



売上単価、商品仕入単価

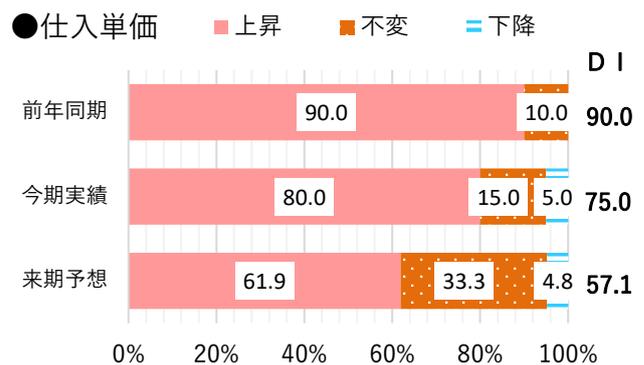
今期の売上単価DIは71.4で、前年同期と比べ1.4ポイント上昇しました。

来期は、売上単価の上昇傾向が大幅に弱まると予想しています。



今期の仕入単価DIは75.0で、前年同期と比べ15.0ポイント低下しました。

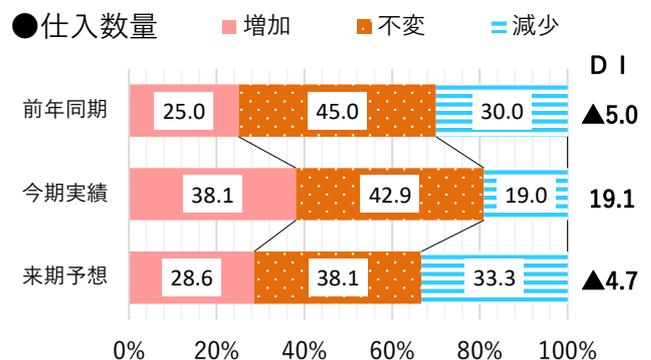
来期は、仕入単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

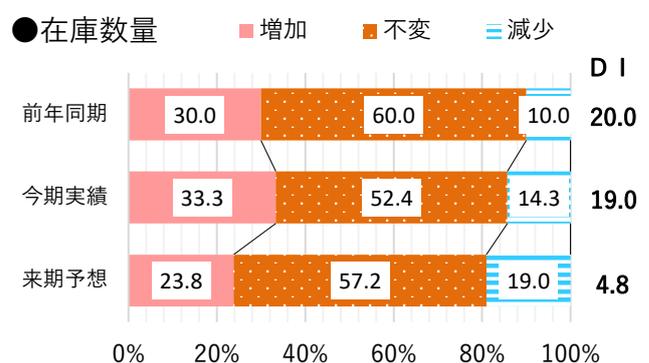
今期の仕入数量DIは19.1で、前年同期と比べ24.1ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、仕入数量がマイナスに転じると予想しています。



今期の在庫数量DIは19.0で、前年同期と比べ1.0ポイント低下しました。

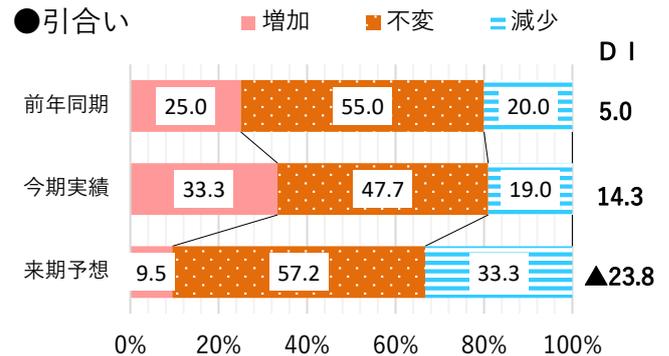
来期は、在庫数量の増加傾向が弱まると予想しています。



引合い

今期の引合いDIは14.3で、前年同期と比べ9.3ポイント上昇しました。

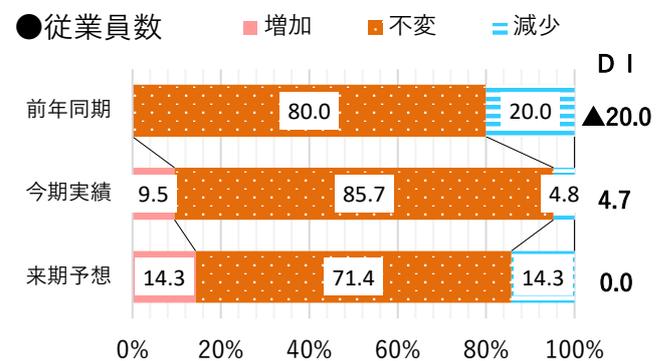
来期は、引合いが大幅に減少し、マイナスに転じると予想しています。



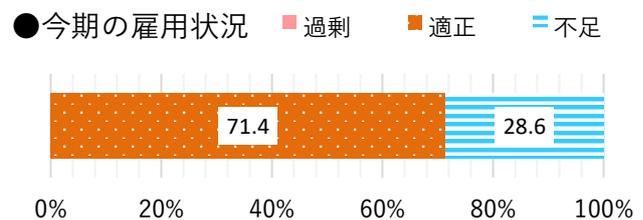
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは4.7で、前年同期と比べ24.7ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、従業員数の増加傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は71.4%、不足していると回答した企業の割合は28.6%でした。



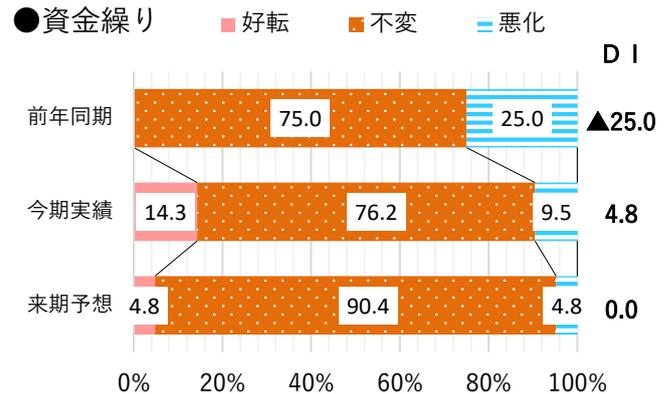
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の61.9%を占めており、不足と回答した企業は3割弱でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	1
	不足	1
不変だった	過剰	0
	適正	13
	不足	5
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	0

資金繰り、設備投資

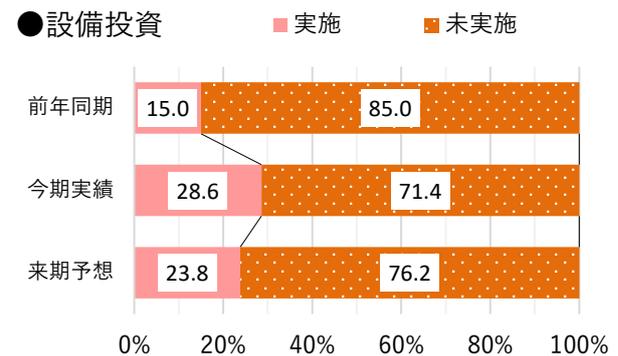
今期の資金繰りDIは4.8で、前年同期と比べ29.8ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が弱まると予想しています。



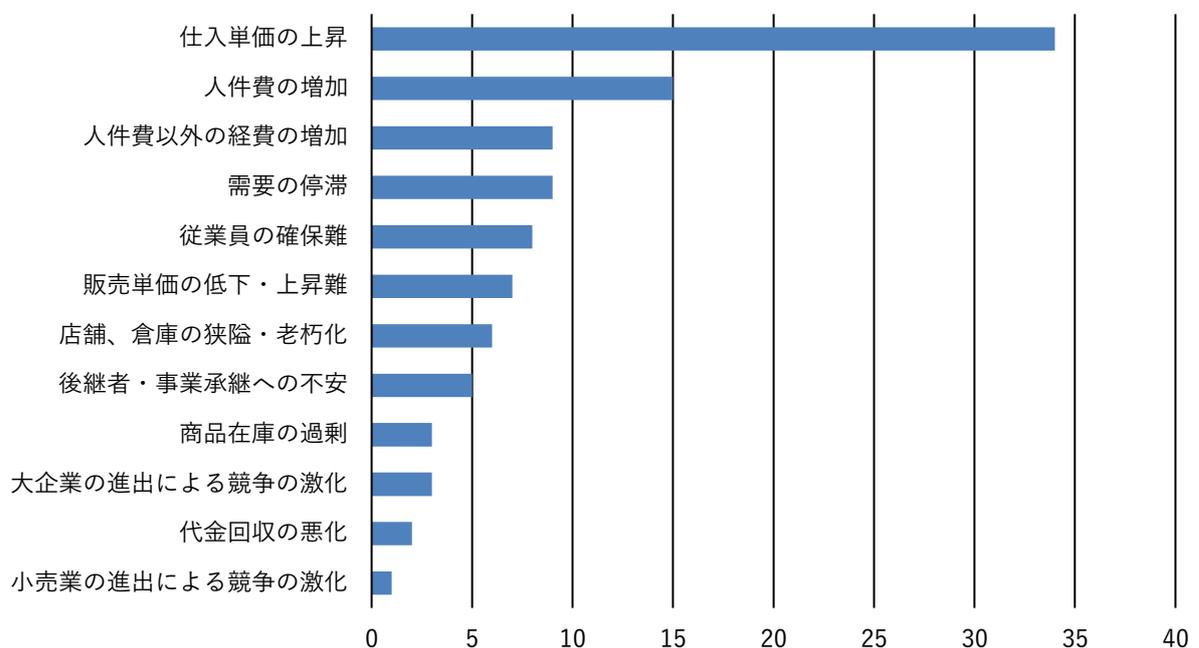
設備投資を実施した企業の割合は28.6%で、前年同期と比べ13.6%上昇しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、2位が「OA機器」でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は23.8%で、減少を予想しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「人件費の増加」、3位が「人件費以外の経費の増加」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 売上を大きく落とすことなく営業できた。従業員の給料を引き上げ、社員のモチベーションを高められるよう努めた。(自動車部品)
- コロナ禍が終息し、好天が続いた影響により売上額が増加した。(食料・飲料)
- 昨年比でやや好転した。(食料・飲料)
- 石油製品の仕入価格が上昇し、利益を確保できない。従業員の昇給により利益が減少した。(石油)
- 北海道新幹線の照明関係の工事が後志地区でも本格的に動き出し、売上が急増している。(建築材料)
- 原材料価格の高止まりと販売量の減少により苦戦している。(鉱物・金属材料)
- 売上が増加した。(事務用品)

[来期の業況について]

- 冬期の仕事を順調にこなし、増収につなげたい。(自動車部品)
- 売上が減少し、コストが増加すると思われる。(食料・飲料)
- 今期同様に売上の増加を見込む。(食料・飲料)
- 悪化を予想する。(食料・飲料)
- 石油製品の価格安定を望む。(石油)
- 今期同様売上の増加を見込むが、資材、人材、車両不足が深刻で対応に苦慮している。(建築材料)
- 引き続き原材料価格が高止まりし、変動は無いと思われるので販売量は減少する。(鉱物・金属材料)
- 今期に引き続き売上の増加を見込む。(事務用品)